



# 松山聖陵高等学校

〒791-8016

愛媛県松山市久万ノ台 1112

TEL 089-924-8783

FAX 089-926-2383

昭和 35 年 学校法人松山聖陵学園設立認可

松山聖陵高等学校 普通科・工業科（こうぎょう化学・自動車工学・建設）設立認可

校訓「礼儀・あいさつができる」「信義・約束を守り義務を果たす」「明朗・明るく公正な生活態度」のもと、責任感が強く教養の高い、誠実で穏健な人材を育成する。

学級数：29 生徒数：818 普通科（特進・進学・情報・スポーツ）工業科（自動車工学・機械・建築）

## 出身中学校で清掃活動

自分の住んでいる地域への恩返しの意味を込めて、年 1 回清掃奉仕活動を行っている。事前に 1 年～3 年の生徒が出身中学別に集まり計画を立てる。今年度で 2 度目の実施であったが、参加人数も初年度より増えて、地域をきれいにしようとする活動する生徒が増えている。また、活動中に地域の方から「ご苦労さん」と声掛けをしていただいて、ボランティア活動に対する意識も徐々に高まっているようである。

毎年 2, 3 回、校内に献血車両が入り献血をしている。血液センターからは感謝状をいただき、生徒も命の大切さについて考えるようになった。

また、ネパールで鍼灸医療活動を行っている卒業生の吉岡大祐さんの講演を聞いて、ネパールの子どもたちを支援しようと募金活動をしている。

東日本大震災の支援として、文化祭で津波による被害で形が悪くなった缶詰工場の缶詰を販売した。現在は、復興したその工場から缶詰を購入し販売している。



清掃活動



献血活動



清掃活動

建築科では、地域の子ども神輿をつくり寄付した。祭り時期には校内に神輿が入る。また、内子町からの依頼で、建築コースの生徒が内子町並み復元の模型を作製した。

普通科スポーツコースは、堀江の海岸を清掃してその後、レクリエーション活動を行っている。

ボランティアについては、自己中心的な考えの生徒が少しでも他人のため、社会のために何かできないかと考えるきっかけになるので必要だと思うが、教員が働きかけても無関心な生徒が多いため、どのようにして興味をもたせていくかが今後の課題である。



# 帝京第五高等学校

〒795-0011

愛媛県大洲市新谷甲 233

TEL 0893-25-0511

FAX 0893-25-3002

昭和 38 年 帝京第五高等学校 開校

健全な身体と精神の育成、実社会に役立つ知性と教養の習得、生徒一人一人の個性の伸長を柱に、実社会に貢献できる誠実で責任感あふれる人材の育成を目指す。

学級数：15 生徒数：365 普通科・看護科・総合学科（総合進学・ビジネス・福祉・生活）

## 河川敷の清掃で感謝状

平成 10 年、総合学科の開設により、「ボランティア活動の基礎」の授業が始まった。同時期、「地域との交流」を学校の取り組みの 1 つとして活動を始めた。

現在、それぞれの学年で学期に 1 回、学校としては年間 8～9 回、学校周辺、地域の駅周辺、矢落川堤防付近の清掃を行っている。その活動に対して、国土交通省四国地方整備局より感謝状を頂いた。生徒たちは、自分たちの力が、地域社会に役立っていることに喜びを感じているようである。

また、大洲城をろうそくで灯すキャンドルナイトのイベントの手伝い、大洲よさこい祭の実行委員、老人施設の「夏祭り」の手伝い、社会福祉協議会の障害者ワークキャンプの補助等の活動をしている。よさこい祭りでは、主催者が高校生の意見を取り入れてくれたのでとても良かったと思う。



石巻の缶詰を販売する

東北復興支援として、文化祭にて石巻市の缶詰（津波で缶詰工場は崩壊したが残った缶詰）の販売やチャリティバザーをした。缶詰工場との交流は現在も続いている。

地域での活動は、学校が用意して参加者を募ることが多い。生徒には、自分にできることを考えて自ら行動に起こしてもらいたい、そこまでは積極的になれないようである。自分の身近なボランティアに対して自主的に参加しようとする姿勢を持ってほしい。

また、本校は南予広範囲からスクールバスで通学する生徒が多いため、放課後や土日の活動が難しい。それぞれの地域の行事等にも参加する意識を高めていきたい。

清掃活動



よさこい踊り





# 帝京富士中学校・高等学校

〒795-0011

愛媛県大洲市柚木 947 番地

TEL 0893-24-6335

FAX 0893-24-6336

昭和 55 年 帝京学園創立者沖永荘兵衛元理事長は、郷土における育英事業の一環として、創礎建学の適地を緑山清流の間に位置する現在地に求め、帝京第五高等学校富士校を創立開校。全寮制育英教育の学舎に清新な灯をともしることになった。

『努力をすべての基（もと）とし、偏見を排し、幅広い知識を身につけ、国際的視野に立って判断のできる人材を育成すること』を目的とする。

学級数：3 生徒数：38 普通科（※学級数・生徒数は高校生）

## 肱川で清掃活動をする

本校の近くには肱川という一級河川がある。夏の鵜飼や花火大会、いもたきが開催されるが、終了後はゴミがたくさん落ちている。気持ちよく使ってもらおうと年 3 回、中高生が地域の人と一緒に清掃活動を行っている。

また、毎年 1 年生が保育園を訪問、園児と一緒に遊ぶ。少人数で 6 年間を過ごすため、生徒同士は仲が良く、保育園でも協力して取り組んでいる。園側からは、訪問の機会を増やしてほしいといわれている。

大洲市内にある老人保健施設へも訪問する。生徒の中には人の助けになる仕事に就きたいと、福祉分野や医療系を希望する者も少なくない。主に、交流や食事介助、配膳の後片付け等を行っていて、学校で練習してから施設で歌を歌うこともある。認知の人との交流は、一人一人に合わせた対応を学び、自分との違いを知るよい機会になっている。



老人保健施設訪問

学習だけだと、豊かな人間性は育たない。できるだけ地域に出て異年齢の方々とふれあったほうが良いと考えているので、訪問回数等、今後検討していきたい。

本校は 7 割が寮生。地元ではないが、6 年間大洲肱川で過ごすことになる。この地域を知り、地域の方々とふれあい、地域愛・郷土愛を体感してほしい。

今までは、ボランティアの数も少なかったが、教員も幅を広げて、新たな活動を開拓する必要があると思う。

国際交流として、韓国の姉妹校の留学生を 1 年間寮で預かっている。寮生活が基盤となって、お互いの価値観の違いを認め、文化を学んでほしい。



清掃活動





# 済美平成中等教育学校

〒790-0054

愛媛県松山市空港通5丁目6-3

TEL 089-965-1551

FAX 089-972-5335

平成 9 年 済美平成中学校開校

平成 12 年 済美高等学校平成分校設置

平成 14 年 済美平成中等教育学校と改称

済美平成中等教育学校は、中高一貫6年制の長所を生かし、生徒の発達段階に応じて基礎期・充実期・発展期を設定し、ゆとりのある効率の良い、私学ならではの一貫カリキュラムで、志望大学への進学を実現する英才教育に努めることを教育方針とする。

学級数：12 生徒数：356 普通科（※学級数・生徒数は高校生）

## 三線同好会からボランティア

三線同好会は、中学課程12名、高校課程2名の14名で活動している。沖縄の伝統的楽器「三線」を演奏し歌うことを日々練習している。そして、年3回、特別養護老人ホーム幸富久荘、グループホームあきを訪問し、60分間ほど三線演奏を行う。終了後、記念写真を撮ったり、折り紙を折って渡したりする。5年前に訪問を希望してスタートした活動だが、毎回感謝の言葉がある。生徒が訪問したことで高齢者が嬉しそうにしてくれると、生徒も嬉しくなり元気をもらうようである。生徒としては、練習の成果を発表できる場であるのと同時に、社会貢献できる場でもあるので、とても大切な活動である。



幸富久荘のみなさんと



自分のことを中心に考える生徒が増えてきているが、周りに奉仕活動等を体験できる場所があれば変わってくる。人に喜んでもらうという経験・体験が必要である。

豊かな社会になり、手に入らないものは少ない。しかし、貴重な体験をする場がないのが現状である。少しでも多くのチャンスを生徒に与えてやりたいと考えている。

移動手段に困るので、近隣の施設への訪問になってしまうことが課題である。